

沿革

時代とともに、社会とともに —— 技術力を原動力に進化し続ける、富士電機

Company

1923 (大正12年)

富士電機製造株式会社 創業

日本の古河電気工業と、ドイツのシーメンス社との資本・技術提携により設立。富士電機には、日本のDNAとドイツのDNAが交錯している。

1925 (大正14年)

川崎工場操業開始

1942 (昭和17年)

松本工場操業開始

1943 (昭和18年)

吹上工場、豊田工場操業開始

1944 (昭和19年)

三重工場操業開始



社章・FSマーク

1961 (昭和36年)

千葉工場操業開始

1968 (昭和43年)

川崎電機製造株式会社と合併し、
神戸工場、鈴鹿工場操業開始

1973 (昭和48年)

大田原工場操業開始

1984 (昭和59年)

商号変更
富士電機株式会社

1991 (平成3年)

山梨製作所操業開始

2002 (平成14年)

シンボルマーク導入



シンボルマーク

2003 (平成15年)

純粋持株会社移行により商号変更
富士電機ホールディングス株式会社

2008 (平成20年)

富士電機機器制御株式会社が日本法人シュナイダーエレクトリック株式会社と事業統合
(受配電・制御機器事業における合併)

2011 (平成23年)

商号変更
富士電機株式会社

2014 (平成26年)

エンブレム (製品用企業ブランド表示) 新設



エンブレム

1920 ~

1950 ~

1980 ~

2010 ~

Technology

1924 (大正13年)

電動機の製造開始

1925 (大正14年)

変圧器の製造開始

1927 (昭和2年)

扇風機の製造開始

1936 (昭和11年)

水車第1号機 4,850HP
フランス水車の製作



フランス水車

1937 (昭和12年)

電力量計の製造開始



超小型電磁開閉器

1954 (昭和29年)

超小型電磁開閉器の製造開始

1959 (昭和34年)

シリコンダイオードの製造開始



第1号自動販売機

1969 (昭和44年)

自動販売機の製造開始

1971 (昭和46年)

ハイブリッドICの製造開始

1976 (昭和51年)

汎用インバータの製造開始



汎用インバータ

1985 (昭和60年)

プログラマブルコントローラ
(MICREX-Fシリーズ) 発売

1987 (昭和62年)

IGBTモジュールの開発

1991 (平成3年)

2.5インチ磁気記録媒体の量産開始

1996 (平成8年)

鉄道車両用 IGBT 主変換装置の受注
(世界初の大容量平型 IGBT)



平型 IGBT

1998 (平成10年)

100kW リン酸形燃料電池の納入



SiCモジュール

2010 (平成22年)

次世代パワー半導体
SiCモジュールの開発

SiC-SBD搭載
インバータ

2012 (平成24年)

国内初、次世代パワー半導体
SiC-SBD搭載インバータの開発

2014 (平成26年)

SiCパワー半導体を搭載した
パワエレ機器の発売



大容量メガソーラー用
パワーコンディショナ

2015 (平成27年)

蒸気発生ヒートポンプの発売

2018 (平成30年)

船舶用排ガス浄化システムの製造開始



船舶用排ガス
浄化システム